



(公社)佐倉市シルバー人材センター ホームページ

ハローシニア佐倉

(公社)佐倉市シルバー人材センター

リフレッシュ 佐倉で森林浴ウォーキング

気候が良くなる秋はウォーキングに最適です。自宅周辺のお気に入りウォーキングコースがもっぱらの方、買い物と兼ねて日によってそれを工夫されている方、健康のためにとシューズを買って自分に合うメニューを試行中の方と楽しみ方は様々です。そこで提案 一 佐倉でちょっとした森林浴気分を味わいながらのウォーキングです。動画と併せてご覧ください。



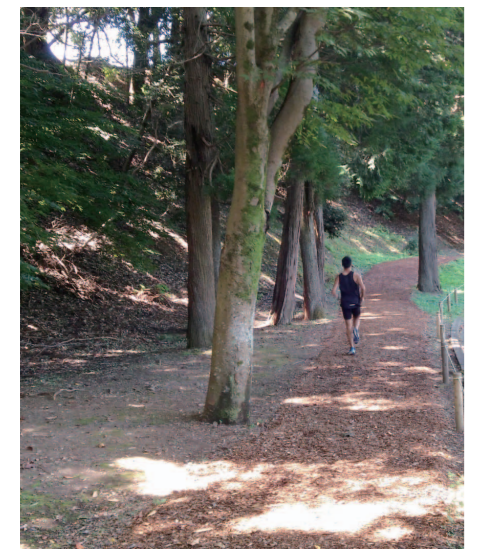
1周 2,400歩

お薦めは《岩名運動公園のクロスカントリーコース》。案内図の赤色で示されています。このコースは高台エリアと平地エリアの森の中を駆ける左回りのクロスカントリーコースです。そのほとんどは明るい木陰なので太陽の強い日差しは気にならず、森林浴も楽しめます。

ウォーキングで1周するとおよそ2,400歩、距離にして約1.6Km、20分ほどでゴールです。

高台エリアには小出義雄記念陸上競技場や長嶋茂雄記念岩名球場、平地エリアには緑が心地よい明るい芝生広場、テニスコートや第二球場があります。

●木材チップ敷きのクロスカントリーコースでトレーニングする陸上競技選手、瞬間に走り抜けていきました。



専用路にチップが敷かれているのがよくわかります。左側斜面の上が高台エリアになります。

チップ敷き専用路

コースは幅2mほどのクロスカントリー専用路で、路面のすべてには木材チップが敷かれています。チップの柔らかな感触はここに立つだけで足裏に伝わります。運動による上下動のエネルギーは吸収されるので身体への負担が軽くなり、とても気持ちよく軽快に歩けます。

三つの坂道

コースの特徴です。最初は高台エリアから左に曲がりながら平地エリアに下りる緩やかな坂、二番目に平地エリアから高台エリアへのゆるやかなつま先上がりからやがて左に曲がる上り坂、最後はゴール手前100mほどの高台エリアの傾斜面を谷の方に下りてから上る勾配の少し強いV字の坂です。最初と二番目の坂の間の平地エリアは平坦で、明るい芝生広場、テニスコートや第二球場の外周を廻ります。季節ごとに異なる野鳥や虫の声援をうけながらクロスカントリー気分を実感できます。

●高台エリアから平地エリアに下る左カーブの坂



●ゴール手前の高台傾斜面のV字の坂
①谷に向かう下り坂 ②谷から高台への上り坂



残念ながら下りの勾配の程度は写真でうまく表現できません。

バス 佐倉市コミュニティ循環バス
乗場:京成佐倉駅北口
下車:岩名運動公園 又は 内郷小学校
徒歩 京成佐倉駅北口から徒歩25分(1.9km)
自動車 佐倉ふるさと広場(風車広場)から6分(3.2km)
無料駐車場 3ヶ所(案内図ご参照)

クロスカントリーの魅力は自然でしょう。健脚ウォーカーは体力に合わせて二周、三周と歩数をのぼして楽しめます。佐倉でちょっとした森林浴気分を味わえる『岩名運動公園のクロスカントリーコース』をウォーキングのマイコースのお気に入り追加されてはいかがでしょうか。

取材担当/広報委員 徳野 廣一



ウォーキングの様子はスマホでご覧下さい
動画

出発

スタート(ゴール)地点は小出義雄記念陸上競技場正面玄関の向かい側にある休憩所です。高台下の道路とこの場所をつなぐ広い石段のそばに案内標識があります。“サア～、イッテオイデ”とも聞こえる野鳥の声を合図に出発です。チップの弾みを味わいながら、長嶋茂雄記念岩名球場の外周を一塁側観覧席から正面そして三塁側へと進んだところで左手の森に入っていきます。あとはゴールめざしてチップの道を進みます。コースの途中から出発するには、芝生広場に隣接する駐車場が便利です。

ひと休み

トイレ、自動販売機、休憩用ベンチは完備。陸上競技場正面玄関ロビーには小出監督の指導を受けて世界で大活躍した有森裕子選手や高橋尚子選手をはじめとする有名陸上選手のサイン色紙や記念の品が展示されています。別棟のスポーツ資料館では長嶋茂雄氏の往年の活躍姿を写真で楽しむことも出来ます。

【佐】まず、成田市SCの特徴をお話しいただけますでしょうか。
【成】成田市には成田国際空港が有り、インバウンド関連の仕事が有りますが、コロナ禍で旅客数が激減し、空港とも打撃を受けています。昨年度までは空港関連の企業から、外国人に対し現役時代に培った接客や英語力を活かした会員の仕事が結構ありました。例えば、乗り継ぎのために空港を訪れた人に向けた観光地を巡るツアー案内の受付や入国審査場での案内業務です。その他クリーニング、機内食関連会社での就業などがありました。全てが全て契約解除になりました。唯一、成田駅前の観光案内所が再開したことで語学力のある会員の就業が確保されました。

【佐】成田市との「密着家等管理の協定」を締結なさったことのお仕事は如何でしょうか。
【成】平成28年に締結しましたが、成田市から紹介を受け、定期的な見回りや、植木・除草を行う仕事ですが、それほど多くはありません。
【佐】昨年、顧客満足度調査をさせていただきましたが、お客様の反応は如何でしたか。
【成】顧客満足度調査は毎年行っています。結果はおおむね良好でした。当センターでは、お客様から就業に当たったことのお褒めの言葉を頂戴した時は、皆さま会員に知らせて、会員名を添えて毎月発行の情報紙「おじさい通信」に事例として紹介し、会員の気持ちを高めるようにしています。

【佐】成田市SCの皆様、この度はお忙しい中、貴重なお話を聞かせいただきありがとうございます。これからも健康に留意なさって活躍ください。
記事担当/広報副委員長 葛西 正敏



写真右 大矢常務理事兼事務局長、左 山田係長

【佐】現在、力を入れて活動なさっていることは何でしょうか。
【成】女性会員の拡大です。今現在、女性会員は20%弱で100名を下回りますが、昨年の11月に女性部会を発足しました。女性理事による女性限定説明会を定期的に開催し、女性会員の獲得に努めました。その他、講習会や意見交換会を開催し、参加会員に一人一声運動を呼びかけ、その結果わずかですが増え、女性会員の活動も活発になりました。
【佐】公共対民間の受注金額が、ほぼ同等なのは要因が何でしょうか。
【成】成田市には、公民館や体育施設などの公共施設が多数あり、その管理業務を行っているのと、公園・学校の植木・草刈りのお仕事が多いことによりです。
【佐】地域班のボランティア活動も積極的に取り組まれているようですが。
【成】3ブロックの地域班があり、地域の除草作業や駅前の清掃、防犯パトロールを積極的に取り組んでいますが、現在はコロナ禍で活動は減少しています。



区分	成田市SC	佐倉市SC
会員数 (令和2年8月末)	476名	1,067名
女性比率 (令和2年8月末)	19.52	30.1%
受注件数 (令和元年度)	2,334件	18,089件
受注金額 (令和元年度)	253,524千円	568,027千円
公共:民間比率	47:53	15:85
人口 (令和2年8月末)	132,446人	174,048人
面積	213.84km ²	103.69km ²

今回は、成田市街から少し離れた、JR成田線久住駅そばの成田市SCを訪ね、大矢常務理事兼事務局長にお話を伺いました。自主・自立・共働・共助の人材センター理念を積極的に実践している同センターの今日をご紹介します。

【佐】コロナ禍でも、何かトピックスはありますか。
【成】マスク不足が深刻化しているこの4月に、女性会員が手作りマスク300枚を成田市に寄贈しました。その後、成田市より新たに1,000枚の発注があり、作業を分担し短期間で依頼の枚数を仕上げました。会員からは、「短期集中で大変だったがやりがいがあった」との声も聞かれ嬉しい限りでした。

事務所の過密解消

従来の各自の大きな固定機を取り止め、3~4人で共有する長い机を4列配置するアイランド形式に変えました。また、事務所内の保存書類を極力倉庫に移動して、窓際全面を占拠していたキャビネットを大幅に減らし、スペースを作りました。結果、人と人との距離が感覚的には1メートル程度から1.5メートル程度に広がり、更に机と机の間の通路も広くなり、大幅な過密解消を図ることができました。見た目にもすっきりとした事務所になりました。

種々のIT化推進も

過密解消にはパソコンの変更も貢献しました。ちょうどリースアップ時期になっていた19台のパソコンの内、15台をデスクトップからノート型パソコンに切り替え、机の上のスペースを有効活用出来る様になりました。また、全国の人材センターの共通基幹システムである「エイジレス」がバージョンアップをした機会に、業務を見直し、4台のパソコンを基幹システムから除外することで、年間少なからぬ額のシステム使用料と保守料の削減を図っています。

更に事務所に無線ランを敷いてコードレス化したことで、効率的な事務所配置を容易にしています。役員室に新たに作った作業乃至打ち合せ用のフリースペースでは、誰もが自分のパソコンを持ち込んですぐに使用出来る様になっています。



コロナ対策・事務局紹介

事務所にレイアウトを変更しました。新型コロナウイルス感染予防対策である過密解消を図る為に、約6年半振りに事務所のレイアウトを変更しました。併せて種々IT化も推し進め、業務の効率化を図りました。



ペーパーレス化についても

書類を減らすペーパーレス化についても進めています。無線ランでパソコンとコピー複合機を接続したことで、書類を印刷することなく、各自がパソコンから直接ファックスを送れる様になりました。また、現在紙で保存しているデータや書類を今後はクラウド内にデータで保存して、必要な人がいつでもそれらにアクセス出来る様にする、更なるペーパーレス化を計画しています。

また、事務所全面をカバーする監視カメラを新たに設置して、セキュリティ面での強化も図っています。

新保事務局長のコメントです。「以前から事務所環境の改善を図りたいと思っていましたが、今回の新型コロナウイルス対策が引き金となって、働き場所改善を実現出来

ました。更にタイミング良くIT面でも種々改善を図ることが出来ました。事務の合理化・効率化の成果はこれから更に色々と目に見えて来るものと思っています。」

取材担当/広報委員 小野寺 弘孝

one point

ワンポイント接遇 第2回

「接遇」とはー “もてなし。接待。あしらい” (広辞苑)

前号の続きです。

- お客様から受注したが、落ち着いたら電話をしよう
- お客様はご近所の方なので、多少の事は許してくれるだろう
- 繁忙期だから、仕事に時間がかかっても仕方がない
- お客様とは旧知の仲だから、目をつぶってくれるだろう

お客様から苦情がきたのは、なぜでしょう？

気持ちの「すれ違い」が原因です!

お客様は、「すぐに連絡が来るだろう」、「約束事は、守ってくれるだろう」、「以前も頼んだので、ちゃんと仕事してくれるだろう」と思っています。

しかし、自分の考えとお客様の気持ちに「すれ違い」が起きると、思わぬトラブルになります。就業者はつい就業時に、“前回の経験”を優先しがちです。しかし、この経験“慣れ”がお客様との間に思わぬ気持ちのずれや温度差を生むこともあります。“慣れ”が無意識のうちに相手に対する“甘え”になることです。“慣れ”と“甘え”は紙一重です。



お客様の苦情には、どのように対応するの？

1. 逃げず、隠さず、手抜きをしない
2. 謙虚な気持ち
3. 誠実に
4. 素早く対応
5. 直ぐにセンターへ内容を簡潔に報告



謝罪のタブー

- ◆聞き直り、責任転嫁、逆ギレ、笑ってごまかす
- ◆自分を卑下しすぎない
- ◆くどくど弁解、体調のせい、遅刻は立派なミス、うその言い訳



お客様に不快を感じさせない「心構え」

- 1) 良いマナーに求められる五つの言葉
 - ①誠実 ②ほほえみ ③テキパキとした処理 ④学ぶ ⑤格好よく
- 2) 仕事を良く知る
- 3) 相手を良く知る
- 4) あなた自身を理解することが、大切です。

記事担当/広報副委員長 葛西 正敏
編集/(理事活動委員会) 企画委員会 研修分科会



職群紹介

草刈り班

写真左上から菅原さん、木内さん、牛玖さん、内田さん
下左から飯田さん、池田さん

作業現場を訪ねて

前回の草取り班に続き、今回は草刈り班の取材をお盆直後のまだ厳しい暑さの日、根郷班(牛玖班長さん)の会員6名(1名のみ白井班)が作業している草刈りの現場へ取材に伺いました。

草刈り作業で一番大変な所は草刈り機の作業自体より、その刈り取った草の搬出処分に時間と労力が必要になること。

作業現場は、鹿島橋を渡った先の羽鳥地区の水田地帯の道路沿いにありました。

作業範囲は市から依頼された道路沿いの側面、いわゆる公共の仕事なのでかなり広いエリアでした。取材は代表して今回の申し込みを受けて下さった池田さんから伺いました。まず今年はコロナ禍にあって、作業解禁が6月中旬になってしまった事と、7月の長い梅雨の影響で例年になく雑草の量も多く、この夏場にきて作業依頼が集中してしまい、人手不足で大変な状況なので、早めに作業日程の段取りを組めないと悲鳴をあげていました。

今回のような公共の仕事は、年間で約2割ほどで、残りの8割は個人の敷地での作業になるそうです。またこの作業の大変なところは、草刈り機を使った作業以上にその刈り取った草の処分に相当な労力が必要で、現場によっては半日以上かかる場合もある

との事。公共の場合は市の処分場へ、個人の場合は北総フォレスト、八街の造伸などの処分場へ運搬するそうです。

事故例として小石が飛んで近くのを傷つけたりする場合がありますので、現場の状況でネットを張って作業する事もある様です。なお作業中は、ヘルメット着用が義務づけられていますが、周囲の安全を確保で



きる現場では麦わら帽子の代用で「熱中症対策」の一環としているとの事。他に水分補給をこまめに(30分おき位)とり、決して現場では一人で作業せず、万が一の場合を考慮して二人以上で作業するように心がけているようです。

またコロナ感染予防のマスクというだ

けでなく、草刈り機の作業中での粉塵を吸い込まない為に各自防護マスク類を着用しているそうです。そう語ってくれた池田さん自身2年前に肺炎に罹って入院された体験話を聞かせてくれました。



最後に、休憩時間となり日陰に移動してから全員で写真撮影させていただき、その後各自持参した飲物類で水分補給しながら、ほんの僅かな憩いの時を過ごしていました。

大変危険も伴う重労働な作業なので、今後も安全と健康に注意してご活躍下さい。

取材担当/広報委員 長谷川 幸雄

作業の様子はスマホでご覧下さい



動画